

# 牛久：学校周辺に見る自然

第17号 ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2019年6月3日発行

## ＜ 初夏しよかのみずべ公園 ～⑧黄色いキク科の花に来る虫たち ＞

5月9日ひたち野うしく小3年生と、16日1年生とのみずべ公園の生きものかんさつ観察、今回はブタナなど黄色いキク科の花と、そこに来た虫たちの紹介です。



黄色いブタナの花（左）と、そのみつや花粉かふんをなめるナミハナアブ（右）。

みずべ公園の黄色いキク科の花で、よく目立つのがタンポポとこのブタナでしょう。ぱっと見て、タンポポと思いこんでいる人もいるようです。花も葉もはちが違います。よく観察しましょう。小さなハナバチやハナアブ、チョウがやって来ます。



黄色いオオジシバリの花（左）と、そのみつを吸う小さなハナバチのなかま（右）。

5月なかばでだいぶ少なくなりましたが、オオジシバリもまだ咲いていました。小さなハナバチなど、だいたいブタナと同じ虫たちが来るようです。



最後に、オニタビラコ。ここにも、小さなハナバチが来ていました。ベニシジミなどが、みつを吸っていることもあります。

【理科支援員：宮内】

オニタビラコの黄色い花（左）と、そのみつを吸うハナバチ（右）。